

ほのぼのせや



承認●瀬谷区第82号

www.seyaku-shakyo.jp

ほのぼのせやふれあい助成金 活動団体紹介

男手が必要な高齢者の
困りごとのお手伝い

グループ 男の手貸します



自分の責任で自由に
遊べる屋外の遊び場

こどものもり プレイパーク



仕事を離れた元気な男性で地域に貢献したいと思っている、男性の集まりです。現在30名ほどの会員が元気に楽しく活動しています。

活動の内容として、高齢の方や障害をお持ちの方が、男手が必要な困りごとがあったときに助ける活動です。たとえば、庭木の剪定や草取り、網戸や障子の張替え、家具移動、水道パッキンの交換等、「できない。でも業者にも頼めない」といったちょっとしたことなどです。また、老人ホームなどの高齢者介護施設を訪問し、麻雀や囲碁、将棋の相手、お話しの手伝いをしております。

平成16年4月、瀬谷区を中心に男性だけで誕生し、昨年10周年を迎え、記念誌の作成、記念パーティを行いました。会員同士の研修、親睦旅行なども実施しており、楽しく活動しています。毎月第一土曜日に定例会を開催し、毎月の活動状況の報告や各種イベントの連絡・案内などを行っています。現在、支援活動も年々増加しており、必要な諸道具、機材、そのメンテナンスなどの費用には、ふれあい助成金は不可欠です。

現在、会員募集を実施中! 仲間となって活動してみませんか?

こどものもりプレイパークは瀬谷区で初めてのプレイパーク(横浜で24か所)です。南台こどものもり公園で、月1~2回開催しています。

こどものもりプレイパークには、ダンボール基地やハンモック・ハイジブランコ・昔遊び・ジャンボシャボン玉・木工遊び等々、子どもたちがワクワクするたくさんの遊びの仕掛けがあります。毎回開催を待っていて、準備から片づけまで一緒にしてくれる子どもやお父さん・お母さんも増え、参加者それぞれがやりたい事を思いっきりやれる場になりつつあります。遊ぶ事が大好きな地域の世話人と、安全に配慮しつつ子どもたちの遊びを広げる、遊びのプロのプレイリーダーと一緒に場を盛り上げています。

使用する遊び素材や、広報チラシの作成等々、助成金は活動の継続を支えてくれています。

第63回神奈川県社会福祉大会開催

功労者表彰

- 会長表彰 軽費老人ホーム睦荘 遠藤はるみ
- 優良地区社会福祉協議会表彰 細谷戸地区社会福祉協議会
- 神奈川県共同募金会会長感謝 小野栄一 細谷戸商振会自治会
- 神奈川県知事表彰 明社いちようの会

第34回横浜市社会福祉大会開催

- 会長表彰 軽費老人ホーム睦荘/瀬谷まほろば/瀬谷はとの会/ステーション Star Dust Club/瀬谷区手話サークルさかいの会 NPO法人せや福祉ホーム/NPO法人ワーカーズコレクティブたすけあいせや
- 会長感謝 瀬谷マジッククラブ/ほっとサロンゆうあい/瀬谷第一地区社会福祉協議会



平成26年度瀬谷区社会福祉功労者表彰式

- 安積 啓子/安藤 久美子/磯田 昭代/植村 和生/太田 佳子/岡田トミ江/小川 明子/金井 信夫/木城 貞雄/久保 弥生/倉島 恵 栗原 諒子/黒河内 知加子/齊藤 富子/坂本 由記子/関口 たけ子/千種 操/塚本 一也/辻川 和伸/平野 敦子/平本 滋子 福田 仁子/藤田 芳正/星野 裕子/町田 光子/八木澤 恵奈/山田 都/横山 ノブ子/渡辺 徳男



- アクセス 相鉄本線「三ツ境駅」下車 徒歩約12分 または、三ツ境駅北口より相鉄バスにて「中丸」バス停下車 徒歩約5分
- 駐車場 26台 ※障害者用駐車場2台 ※台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

瀬谷区社会福祉協議会が、毎年7月から9月に掛けて「賛助会員」の加入申込を受け「賛助会費」の協力をお願いしております。この賛助会費の55%は地区の福祉活動を行っている各地区社会福祉協議会に助成金として、また、賛助会費の35%は、地区で行われているサロン活動や高齢者の方への配食サービス等のボランティア団体や地域福祉推進団体と「ふれあい助成金」として助成されています。是非地域のボランティア団体等への協力・支援をお願いいたします。(遠山 丈晴)

- 委員 長 ● 遠山 丈晴 (瀬谷第四地区社協)
- 副委員 長 ● 紅林 千津子 (相沢地区民児協)
- 林 茂 (南瀬谷地区社協) / 米倉 令二 (瀬谷区障害者団体連絡協議会)
- 飯塚 陵子 (ワーカーズわくわく)

平成27年度の事業計画をご紹介します

基本方針 本会は、社会福祉法に規定された公共性の高い団体として、地域住民の参加を促進し、瀬谷区における社会福祉事業、その他の社会福祉を目的とする事業の健全な育成及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ります。

また今年度は「第3期瀬谷区地域福祉保健計画」<H28~H32>を策定する年に当たるため、第2期のまとめと第3期計画策定に向けて取り組みを進めていきます。

事業方針 平成27年度も平成26年度、平成25年度同様、活動主体の支援として地域福祉活動の推進と、その活動を広く区民にアピールするための広報啓発活動をいろいろな媒体を利用し積極的にいきます。

また、区ボランティアセンターの充実のもとより、地域でボランティア活動が行いやすい環境をボランティア講座・研修の実施を通して構築します。さらに「身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業」を進め、生活困窮者への支援や子どもへの個別支援や学習支援を関係機関と連携し継続していきます。引き続き被災地支援の取り組みや災害時のボランティアセンターの充実・強化を図ります。

身近な地域のつながり 支えあい活動推進事業

- (1) 家庭で食事や学習をすることが困難な子どもを支援するボランティア団体育成
 - <目的> 自ら料理や学習ができるようになり自立した生活が送れる環境づくり
 - <取組> 学習支援の中で食の大切さなどを学び、自らに力を備える。
- (2) 地域における生活困窮者の自立支援
 - <目的> 困難ケースの発見、支援の仕組みを構築する
 - <取組> 地域活動とフードロス減らす取組との連携

重点目標

- 1 身近な地域のつながりと支えあい活動で地域福祉活動を支援します
- 2 ボランティア活動を推進します
- 3 個性を理解して支え合いの輪を広げます
- 4 担い手を支援する情報共有のしくみをつくりまします
- 5 福祉ニーズを持つ区民へのサービスを充実します
- 6 運営機能を充実します

権利擁護事業の周知啓発

地域に権利擁護事業を広める

- <目的> 地域において権利擁護事業(あんしんセンター)についての理解
- <取組> 地域のサロン、食事会などで事業について周知啓発を図る

障害児・者理解 啓発事業

障害児のための余暇支援事業

- <目的> 個別支援ニーズを把握して障害児への支援強化を図る
- <取組> 地域ケアプラザと協働で障害児者余暇支援事業を実施する

地区社協支援

賛助会員増のための周知

- <目的> 財政基盤の安定
- <取組> 賛助会費周知のチラシ、DVD等の作成支援

第3期福祉保健計画の策定推進

地区別計画の策定支援と推進

- <目的> 第3期地区別計画の策定
- <取組> 支援チームの一員として他機関と連携し計画策定支援

●地域福祉保健計画とは●

地域福祉保健計画は、「地域に暮らす誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせるように、区民・団体(事業者)・行政の役割と連携を明確にし、支え合う仕組みをつくる」ことを目的としています。

◆基本理念◆ 「みんなで作る みんなのしあわせ」



**赤い羽根共同募金
せやまるバッジ**



共同募金会瀬谷区支会では、500円以上募金していただいた方へお渡しする募金バッジとして、今年度初めて瀬谷区オリジナルの「せやまるバッジ」を作製しました。可愛らしいデザインが好評で、より多くの方に共同募金を知っていただくことができました。

今後も皆さまのあたたかい志をお寄せ下さいますよう、どうぞよろしくお願い致します。



**移動をサポート
送迎サービス**



介護保険による介護認定者(要介護1~5)や難病患者、身体障害者手帳交付者(1~6級)など、一般の公共交通機関の利用が困難な方を対象として、医療機関や行政機関に送迎をするサービスです。利用料金については、迎車は300円、乗車後は1km毎に150円を加算して計算します。(平成27年4月より料金改定)



**瀬谷の子育てを応援
子育てサポートシステム**



子育てサポートシステムとは、子どもを預かって欲しい人と、預かることができる人それぞれに会員登録をしていただき、条件に合う会員同士の出会いをサポートすることで、地域ぐるみでの子育て支援を目的とした有償のささえあい活動です。毎月第二木曜日に入会説明会を開催しておりますので、ご興味のある方は瀬谷区社会福祉協議会までお気軽にお問い合わせ下さい。



**ボランティア
バス報告
第7弾**

平成26年
11月21日(金)~23日(日)
2泊3日(車中1泊)
参加30名(うち高校生9名)

**釜石市と瀬谷区
の高校生同士の
交流が深まりました**



高校生同士の集合写真

田郷仮設住宅への支援

今後5年間継続して支援することになった田郷地区の仮設住宅に、第1回目の支援を行いました。午前中は現地の名物鮭のチャンチャン焼きと鮭汁を現地の方と一緒に作って食べ、午後はクリスマスリースとカレンダー作りを行い、たくさんの方と交流することができました。釜石高校の生徒(8名)にもボランティアとして参加していただき、高校生同士の交流も深まりました。



現地の方と一緒にチャンチャン焼き作り

現地の方との懇談会

夕方、矢浦さん(元釜石社協 事務局長)から被災当時のお話や今後気を付けるための教訓などを教えていただき、釜石高校の生徒も交えて懇談会を開きました。今までの苦勞などを聞き、泣いている方もたくさんいました。



発表する釜石高校の生徒

三陸鉄道

翌日は三陸鉄道に乗って被災地を視察しました。鉄道職員から当時の様子や写真などを見せてもらいました。参加した横浜隼人高校の生徒は、2月8日の横浜国際フォーラムや3月14日の釜石からのメッセージで、ボランティアバスの報告をしてくれました。



小さな子ども来てくれました

あなたの町の地区社協



三ツ境地区社協 冬季防災訓練実施



三ツ境地区では、住みよいまちづくり委員会で「あんしんカード」「緊急カード」「避難カード」を入れて冷蔵庫に保管する筒を、支えあいカードを提出した全世帯に配布しています。2月22日に行われた冬季防災訓練でシンポジウムを行い、各カードの紹介と筒の案内をしました。

シンポジウムでは、連合自治会・地区社協・地区民児協・防災拠点委員会・ケアプラザの方々によって、防災と日頃の見守りについて話し合いが行われ、「隣近所と良好な関係を築くことが、日頃の見守りや災害時の声掛けにつながる」という結論になりました。

瀬谷北部地区社協

ふれあい食事会の実施



瀬谷北部地区全体で2回、町内毎に4回、合計で年6回実施しています。むつみ会が料理を担当し、季節を感じる食材を使って130食のお弁当作りに励んでいます。65歳以上の独居の方と77歳以上の方を対象とし、連合の役員の方々に参加者の送迎と会場作り、食後のビンゴゲームのお手伝いをお願いします。又、お弁当を作るにあたって中屋敷地区センター・中屋敷地域ケアプラザ両館を借りて活動しています。参加者と地区社協のメンバーが交流をすることで顔見知りになり、日頃の見守り活動にも役立っています。私たちの地域では地区社協と連合会は両輪であり、お互いに協力し合いながら地域づくりに取り組んでいます。



瀬谷北部地区全体で2回、町内毎に4回、合計で年6回実施しています。むつみ会が料理を担当し、季節を感じる食材を使って130食のお弁当作りに励んでいます。65歳以上の独居の方と77歳以上の方を対象とし、連合の役員の方々に参加者の送迎と会場作り、食後のビンゴゲームのお手伝いをお願いします。又、お弁当を作るにあたって中屋敷地区センター・中屋敷地域ケアプラザ両館を借りて活動しています。参加者と地区社協のメンバーが交流をすることで顔見知りになり、日頃の見守り活動にも役立っています。私たちの地域では地区社協と連合会は両輪であり、お互いに協力し合いながら地域づくりに取り組んでいます。

瀬谷第二地区社協

「人と地球にやさしく」をみんなで考える集い

3月7日、瀬谷第二小学校で開催されました。第一部は「地球にやさしく」と称して、横浜市温暖化対策統括本部の方より地球温暖化について学びました。地球温暖化という身近には感じにくい問題ですが、横浜市の温暖化対策や普段の生活の中で取り組めることについて考えました。第二部は「人にやさしく」と称して、災害時の助けあいについて考えました。各自治会で取り組んだ「まち歩き・マップづくり」から感じた、地域の様子や改善点の事例発表も行いました。危険箇所を発見し、早速新しい柵を設置することになったという自治会もありました。瀬谷第二地区では、今後も環境問題や災害時の助けあいなどを、地域で考え行動していきます。



**第6回ボランティアバス
ふりかえりの会を実施 1月22日**

17名(内高校生8名)の参加で、今年度2回目のボランティアバスふりかえりの会を実施しました。ボランティアバス実施報告書を見ながら当日を振り返ったり、今後の支援については、今後も炊き出しを続けることで、仮設住宅の方に瀬谷区をPRしたり、定期的に訪問することに意味があるなどの意見が出されました。



福祉よこはまの取材も入り、参加者のインタビューが掲載されました。

横浜国際フォーラム 2月8日

横浜隼人高校がボランティアバスをテーマにJAICA横浜で講演会を実施しました。準備から当日のセッティング、司会、発表、グループワークまで全て高校生が行い、発表はボランティアバスに参加した時の様子や感じたこと、グループワークでは、地域のお祭りで被災地のことを伝えていく手法について、参加者と熱い議論が行われていました。



釜石物産展 3月2日・3日

瀬谷区被災地支援実行委員会が、瀬谷区役所で二日間釜石物産展を開催しました。ボランティアバスのパネルも展示し、被災地支援の啓発も行いました。東北出身という方も多数来場し、「懐かしい」と手に取っていました。



この事業は神奈川県共同募金会「たすけあい福祉資金」の配分を受けて実施しました。

障害者の方々に応援しています!

障害者支援の活動が、いろいろな形で行われました。その様子をご紹介します。

『せやまる・ふれあい祭り』

12月6日(土)

お天気も晴天の中、毎年恒例となりつつある「せやまる・ふれあい祭り」を開催いたしました。このお祭りは、せやまる・ふれあい館内の6施設(二ツ橋第二地域ケアプラザ・瀬谷区民活動センター・瀬谷区生活支援センター・瀬谷区地域子育て支援拠点にてらす・シャローム三育保育園・瀬谷区社会福祉協議会)が共催で実施するイベントで、「心と年齢のバリアフリー♡異世代交流～みんなでつなごう・あったかまつり～」をテーマに各施設がそれぞれ催しをしました。

瀬谷区社会福祉協議会では、障害者週間であるこの日に、障害の啓発活動として区内障害関係事業所による物販や展示、



瀬谷区手話サークルさかいの会によるミニ手話講座

手話・点字体験、こころの健康相談コーナーや喫茶コーナーを当事者の方・作業所スタッフやボランティア団体と共に行い、昨年度を上回る来場者数で賑わいをみせました。



区内事業所による物販等

障害児余暇支援「みーとすまいる」

2月28日(土)



ボランティアさんと少しずつ慣らして、色や絵の具の感覚を楽しみました。

二ツ橋第二地域ケアプラザと共催で実施してきました学齢障害児余暇支援事業「みーとすまいる」も今年度で3年目をむかえました。今までは音楽療法を中心にプログラムを展開してきましたが、平成26年度第3回目に初の試みとして「フェイス&ボディペインティング」を企画しました。NPO日本フェイスペイント協会より深井仁美先生をお呼びして、専用の絵の具を使ってペインティング。絵の具を使って自由に体にお絵かき!汚れたって気にしない!という、普段はやったら怒られそう!?なことを、ボランティアさんやお父さんお母さんと一緒に思いっきり楽しみました。子どもたちもさることながら、親御さんたちも楽しんでおられ、笑顔いっぱいとなりました。



たくさん笑顔を見せてくれました



先生の見事なペイント

サロン連絡会が行われました

1月19日(月)

瀬谷区内で実施されているサロンやミニデイサービスを運営されているみなさんに集まっていただき、せやまる・ふれあい館でサロン連絡会が実施されました。

新規のサロンの紹介や、レクリエーションの紹介でオカリナのコンサートを行うなど、31団体32名の方に参加していただき、盛大に行われました。各地域ケアプラザの方にもご参加いただき、ケアプラザで貸出されている物品の紹介や、出前講座のお話など、今後サロンを運営していく中で、ケアプラザを活用していただくための情報提供がありました。

また、参加したサロンのみなさんにご協力をいただき、区内のミニデイやサロンを網羅した、「地域デイふれあいサロン一覧」を作成し、地域や行政など関係機関にお配りしています。



地域ケアプラザのコーディネーターが、ケアプラザの紹介や貸出物品の紹介をしました

オカリナのコンサート

平成26年度 各種募金ご協力状況

賛助会費納入協力状況報告

世帯賛助会費	5,907,700円(昨年度 5,680,200円)
法人・個人会費	405,000円(昨年度 498,000円)
合計	6,312,700円(昨年度 6,178,200円)

●賛助会費とは●

賛助会費は瀬谷区内の地区社会福祉協議会と地域福祉活動団体の運営を支援するために、地域の皆様にご依頼させていただいているものです。

●賛助会員とは●

本会の実施する事業に対して、ご賛同いただき1年ごとに会員という形で地域の福祉活動を財政面で支えていただく世帯・個人・法人・団体の方々のごことです。

●具体的な用途について●

地域の皆様には、一口1,000円をお願いしておりますが、そのうち55%(550円)は地区社会福祉協議会の活動財源に、35%(350円)はほのぼのせやふれあい助成金として福祉活動団体の財源に、残りの10%(100円)は配分事務手数料といった内訳になっています。地区社会福祉協議会では、社会参加の促進を支援するサロン活動や、高齢者の方への配食サービス活動などを地域の方々为主体となって行っています。

善意銀行とは

地域の皆様の善意に基づく金銭・物品をお預かりし、必要とされる方々に配分する仕組みで、銀行の機能になぞらえて「善意銀行」と呼んでいます。また、平成24年度より、被災地の復興支援を目的としたボランティアバスへの指定寄付も受け付けています。

<平成26年度実績>	<平成25年度実績>
1,048,932円	1,857,895円
うちボランティアバスへの寄付	うちボランティアバスへの寄付
329,056円	1,226,826円

神奈川県共同募金会瀬谷区支会

<平成26年度実績>	<平成25年度実績>
赤い羽根共同募金 8,738,007円	9,503,155円
年末たすけあい募金 2,214,781円	2,385,187円
合計	10,952,788円
	11,888,342円

日本赤十字社瀬谷区地区委員会

<平成26年度実績>	<平成25年度実績>
6,539,322円	6,789,160円

※平成26年度実績については、全て平成26年2月末日現在の実績です。

法人賛助会費にご協力いただいた皆様

2月末日現在
(順不同・敬称略)

- (株)浅川建設 ●協和エンジニアリング(株) ●珈心館 ●(株)アアム
- (株)フクハラ ●和光テレコム ●(有)橋田商事 ●(有)第一産業
- 志水工業(株) ●(有)新教材社 ●(有)安芸美装 ●(株)稲香堂
- 横浜市瀬谷区医師会 ●瀬谷交通(有) ●(株)シーケン ●(株)佐川商事
- 川口白鳳(株) ●(株)ハウホウエンタープライズ ●曙工業(株)
- (有)上越建設 ●(株)連合社印刷 ●コーロ計装(株) ●(有)三貴工業
- 花上社会保険労務士事務所 ●共同建工(株) ●(株)シヨニー・エービー・センター
- 社会福祉法人朋友会 ●(株)鈴木工業 ●相原造園土木(株) ●川合機工(株)
- イシケンスポーツ瀬谷店 ●(株)松下コンクリート建材 ●(株)伸和
- (株)白光社 ●(有)報栄 ●三新住研(株) ●(株)八雲堂 ●東都造園(株)
- ダスキンヘルスレート横浜西ステーション ●(有)ニシモト住建
- (株)国際連邦警備保障 ●(有)山百合商事 ●税理士法人TMP
- (株)小林住宅工業 ●(株)日生設備 ●(有)平本ビル ●三ツ境交通(有)
- (株)三ツ境生花園 ●平田自動車工業(株) ●(有)村田建設
- (有)カネココンストラクション ●(株)高栄設備工業 ●横浜単人中学・高等学校
- (株)あんざい ●(株)岩本工業 ●(株)エムテック松崎 ●日総ニフティ(株)
- (株)富士紙業 ●(株)リビングタナカ ●三鈴興業(株)
- 学校法人平成学園原幼稚園 ●(有)ラ・シード ●勝建設(株)

※賛助会費は確定申告の際、寄附金控除の対象となります。

賛助会員になって

イシケンスポーツ 瀬谷店様

1964年東京オリンピック開催と同時に相鉄線「瀬谷駅」南口側に開業。地域の皆様を支えられ、おかげさまで、昨年50周年を迎える事が出来ました。「あらゆる世代のスポーツを通じて健康や夢を分かち合いたい。」「地域密着のいつでも相談できるスポーツ店」をめざし、常に誠実な対応を心掛けています。昨年の秋には記念事業としてウォーキングステーションを開設致しました。「瀬谷区イヤラウンドコース(せや八福神をめぐる瀬谷ふるさと歴史さんぽ道)が日本ウォーキング協会のコースに認定されました。」全国のウォーカーが徐々に訪れ始めています。また、よこはまウォーキングポイント事業にも協賛。お店では「足と靴と健康の専門相談員」「シューフィッターやフットケアトレーナー」が足のトラブルや靴・インソールの相談にあたっています。



(株)富士紙業様

☆私たちは、環境と再生をキーワードに、資源循環型社会を創造していきます☆世界が地球環境の健全化を心がけるために、日本の中、まずは横浜という地域から循環型社会育成のための取り組みを行っていきたく考えます。市民が相互のつながりを大切に、友好と信頼に満ちた生活を営み、次世代のために、この地球をともにできるかぎり理想の環境にしていきたいと思います。地球上の限りある資源、次世代の生存に必要な森林資源の保全のために、古紙のリサイクルを通じて資源循環型社会の推進、環境保全に貢献します。また、子供会様をはじめ自治会様、老人会様など、社会的な組織に協力サポートして、教育啓蒙活動にも取り組みます。



ISO14001認証 facebook:富士紙業 Fujishigyou Co.,Ltd.

●法人賛助会員とは●

毎年9月以降、区内にある法人様を対象にご協力をお願いしています。平成26年度にご協力いただいた63社の法人様の中から、「イシケンスポーツ瀬谷店様」「(株)富士紙業様」の2社をご紹介させていただきました。